

せ~の街づくりだ!



せの喜代の 区議会ノート

新星クラブ

2006・秋
第23号

瀬野喜代 (みんなで街づくりをすすめる会代表)

ホームページは【せの喜代】で検索してください

子育て・介護・環境 情報公開と市民参画で街づくり <http://senokiyo.sakura.ne.jp/>

〒116-0013 荒川区西日暮里2-13-8 TEL/FAX:03-3891-0203 E-mail: senok@kfx.biglobe.ne.jp

不安定雇用が増え、格差が広がる今、 区としての対応策を求めます

2006年第3回定例区議会報告

区の非常勤職員や区関連施設に働く労働者の労働条件を改善するべき。入札や指定管理者選定において区の政策（障がい者雇用や公正な労働条件、母子家庭支援、男女共同参画、環境配慮など）を推進するために、総合評価入札制度の導入を求めます。

新星クラブをはじめ、区議会各会派からの要望に対し、区は、非常勤職員の労働条件改善や総合評価入札制度の検討を約束。早急な取り組みを期待します。



荒川区の財政健全化

- ・経常収支比率は 75.9%に改善 (70 ~ 80%が適正水準)
- ・公債費比率 7.7% (10%以下が望ましい)

日本経済新聞行政サービス調査で全国第5位
(上位は首都圏に集中)

小児医療費無料化を中学生までに拡大



高齢者に負担

老年控除廃止等に伴う特別区税増収額 約2億3,200万円

貧困層増加

働いていても生活保護以下の収入の世帯 約2割

東京と地方の格差拡大

荒川区と同じ人口19万都市の一般会計規模
荒川区848億円 VS 京都府宇治市518億円

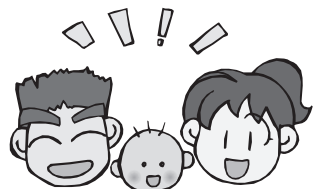
小泉政権で財政赤字さらに進む

国と地方の借金775兆円

子育て施策のさらなる充実を

孤立する在宅育児への支援を

保育に関わる NPO が民間の補助金を得て町屋駅前で運営している乳幼児の一時預かり (週一回) に寄せられた利用者のアンケートには「子育てがこれほど大変とは思わなかった」「出産後初めて子どもを預けて友人とゆっくり話ができて、よかった」「美容室に行けてありがたい」「資格のための勉強時間ができて助かる」など、切実な声が寄せられている。区としての、事業継続拡大のための支援を要望した。区も支援を約束。



区内のあちこちに一時保育の場所ができればいいな。



10月22日、今年23回目の「おやこまつり」に参加。荒川区保育園父母の会連絡会など、大勢の子ども連れが旧真土小学校を満杯にした。子育てには地域のつながりが一番。地域ぐるみの子育てを模索しよう。